



ルワンダ共和国 (Republic of Rwanda)



- ルワンダはジェノサイドの後、以降著しい経済発展を遂げ、近年も年率7%前後で経済成長を続けており、アフリカの奇跡とも言われる。
- 天然資源に乏しい同国は、人材資源開発を通じてIT分野等における産業発展に取り組んでおり、日本はABEイニシアティブ等によってルワンダの人材育成に貢献。
- ビジネス環境整備に力を入れており、今後の日本企業の進出も期待される。

国概要

(基礎データ)

- ・面積: 26,338平方キロメートル(四国の約1.5倍)
- ・人口: 1,161万人(2015年, 世銀)
- ・首都: キガリ
- ・民族: フツ族85%, ツチ族14%, トウワ族1%
- ・言語: ルワンダ語, 英語, 仏語
- ・宗教: キリスト教94%, イスラム教4.6%
- ・政体: 共和制
- ・議会: 上・下二院制(上院26議席, 下院80議席)
- ・GDP: 81.0億ドル(2015年)
- ・GNI: 一人あたり 700ドル(2015年)
- ・経済成長率: 6.9%(2015年)
- ・失業率: 2.0%(2014年)

(略史)

17世紀	ルワンダ王国建国
1889年	ドイツ保護領
第一次大戦後	ベルギーの信託統治領
1962年	ベルギーより独立
1973年	クーデター発生, ハビヤリマナ少将が大統領就任
1993年	アルーシャと平和合意
1994年	ハビヤリマナ大統領暗殺, ルワンダ大虐殺発生
2000年	カガメ副大統領が大統領就任
2003年	初の複数候補による大統領選でカガメ大統領当選
2009年	コモンウェルス加盟
2010年	カガメ大統領再選

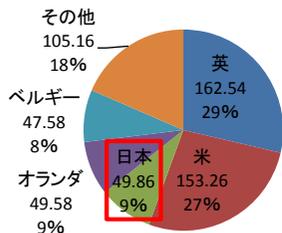
※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

援助実績

スキーム	額(累計) / 人数(延べ)
円借款	46.49億円 (2014年度末時点)
無償資金協力	413.20億円 (2014年度末時点)
技術協力	117.13億円 (2014年度末時点)
青年海外協力隊	延べ232人 (2016年4月時点で43人)
シニア海外ボランティア	延べ4人

出典: ODA国別データブック2015
青年海外協力隊事務局統計(平成28年6月末)
(注) 青年海外協力隊には、短期派遣ボランティアを含む。

OECD諸国による2013年対ルワンダ支援実績 (出典: OECD/DAC, 単位: 百万米ドル)



経済関係

スキーム	金額 / 人数(直近年)
日本からルワンダへの輸出	135億円 (2015年, 財務省統計)
ルワンダから日本への輸出	46億円 (2015年, 財務省統計)
在ルワンダ日系企業数	12社 (2014年末時点, 外務省統計)

人的つながり

項目	人数(直近年)
ルワンダにおける在留邦人数	162人 (2016年5月時点, 外務省統計)
在日ルワンダ人数	77人 (2015年末, 法務省統計)
ルワンダから日本への留学生数	33名 (2015年5月時点, 独JASSO調査)

日本とルワンダ共和国との協力年表

年代	案件
1962年	ルワンダ共和国独立 日本は7月に国家承認
1965年	日銀から服部正也氏が第2代ルワンダ中央銀行 総裁として6年間出向
1970年	基礎生活分野及び基礎インフラ整備に対する無償資金協力, 通信・放送や工業分野での研修員受入れ開始
1979年	駐日ルワンダ大使館開設
1985年	青年海外協力隊派遣取極を締結
1987年	JICAルワンダ事務所開設
1994年	ルワンダ大虐殺発生を受け, 本格的な二国間協力の実施見合わせ
1994年	国際平和協力法に基づき, 国外に避難したルワンダ難民救援のため, 現コンゴ民主共和国のゴマ等に難民救援隊・空輸隊等を派遣
2004年	協力再開
2005年	JICAルワンダ事務所再開 青年海外協力隊派遣再開
2005年	技術協力協定締結
2006年	地方給水計画(第一次)を無償資金協力で実施
2010年	地方給水計画(第二次)を無償資金協力で実施
2010年	在ルワンダ日本大使館開設
2011年	ルスモ国際橋及び国境手続円滑化施設整備計画を無償資金協力にて実施開始
2014年	ABEイニシアティブ第一バッチの学生10名が日本に留学
2015年	地方給水計画(第三次)を無償資金協力で実施
2015年	ABEイニシアティブ第二バッチの学生6名が日本に留学



防疫活動を行う陸上自衛隊



地方給水計画で作られた公共水柱。三次にわたって総額約30億円の無償資金協力を実施。



ルスモ国際橋及び国境手続円滑化施設整備計画